

「東京医療保健大学の社会連携・協力に関する基本方針」の  
一部改正について

1. 趣旨・概要

本学は、教育目標及び使命に基づき、医療系の大学として教育・研究の充実・発展を図るとともに、医療・健康・保健面での社会貢献を積極的に推進し、地域との連携・協力を組織的に推進するため、「社会連携・協力に関する基本方針」を定めております。

先に開催された大学経営会議(26. 5. 14)において、「大学は、地域を指向した教育研究等を進め地域の課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる地域コミュニティの中核的存在としての機能強化を図ることが求められていることから、「社会連携・協力に関する基本方針」の中にこれらの視点を踏まえ社会の活性化に資するという役割を明記してはどうか。」とのご指摘がありました。

については、社会連携・協力に関する基本方針に新たに次の条項を加えることといたします。

「6、本学は、医療・健康・保健面において地域を指向した教育研究活動を推進するとともに、地域の課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる地域コミュニティの中核的存在としての機能強化を図る等、医療系の大学として社会の活性化に資する役割を担うこととする。」

2. 施行年月日

平成 26 年 7 月 16 日。

## 東京医療保健大学の社会連携・協力に関する基本方針

- 本学は建学の精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」に則り、「時代の求める豊かな人間性と教養を備え、これからの社会が抱える医療関係の課題に対して、新しい視点から総合的に探求し解決できる人材の育成」を教育目標としており、教育、研究とともに社会貢献を本学の重要な使命としている。
  - この教育目標及び使命に基づき、医療系の大学として教育・研究の充実・発展を図るとともに、医療・健康・保健面での社会貢献を積極的に推進し、地域との連携・協力を組織的に推進するため、「社会連携・協力に関する基本方針」を次のとおり定める。
- 1、本学の教育・研究に係る成果を基にした社会へのサービス活動及び社会貢献の一環として、地元の区等との連携・協力により医療・健康・保健をテーマとした公開講座を積極的に開催する。
  - 2、医療系の大学に学ぶ学生として、社会貢献・社会活動に関する意識の涵養を図り地域社会との交流を深めるため、医療等に関わるボランティア活動及び地域の行事等に参加して地域との交流を深める活動等への積極的な参加を推進する。
  - 3、教育・研究の充実・発展を図るため、産・学・官等との共同研究及び受託研究を積極的に推進するとともに、その成果を社会に公表する。
  - 4、本学の教育・研究の活動状況等について、ウェブサイト等による情報公開を積極的に推進するとともに、社会からの意見・要望等を真摯に受け止め適切な措置を講ずることとする。
  - 5、地域社会に開かれた大学として大学の施設の開放及び図書館利用の拡充に努める。
  - 6、本学は、医療・健康・保健面において地域を指向した教育研究活動を推進するとともに、地域の課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる地域コミュニティの中核的存在としての機能強化を図る等、医療系の大学として社会の活性化に資する役割を担うこととする。

附則 この基本方針は平成 23 年 12 月 7 日から施行する。

附則 この基本方針は平成 26 年 7 月 16 日から施行する。

公開講座実施状況(平成24年度～平成26年度)

	平成26年度					
後援・共催	品川区共催		世田谷区共催		品川区共催	
実施日時	26.6.7(土)10:00～12:00		26.10.19(日)10:00～12:00		26.11.8(土)10:00～12:00	
実施場所	こみゆにていプラザ八潮		上北沢ホーム		五反田キャンパス	
受講料	無料		無料		無料	
講座の内容	「アンチエイジング (シニアもヤングも今日から実践)」		「認知症の人と共に生きる社会を 目指して」 —認知症の予防から介護、地域での 支え合いまで、今、私たちにできることとは—		「最期まで自分らしく生きるために」	
講師	医療栄養学科准教授 神田 裕子		看護学科教授 坂田 直美		看護学科准教授 櫻井 智穂子	
参加者数	50名		33名		98名	
アンケート回答者数	44名 (回収率 88.0%)		31名 (回収率 93.9%)		87名 (回収率 88.8%)	
性別	女性30名、男性11名、無記入3名		女性24名、男性6名、無記入1名		女性55名、男性32名	
年代	70歳以上	38.7%	70歳以上	32.3%	70歳以上	58.6%
	50～69歳	52.2%	50～69歳	58.0%	50～69歳	39.0%
	50歳未満	6.8%	49歳以下	9.7%	49歳以下	1.2%
	未記入	2.3%			未記入	1.2%
在住	品川区	93.2%	世田谷区	83.9%	品川区	96.5%
	その他の区等	6.8%	その他の区等	16.1%	その他の区等	3.5%
感想	とてもわかりやすかった	93.2%	大変わかりやすかった	64.5%	大変わかりやすかった	48.3%
	普通	6.8%	わかりやすかった	29.0%	わかりやすかった	40.2%
			普通	6.5%	普通	9.2%
					その他	2.3%
講座を知った方法	広報しながわ	50.9%	世田谷区報	41.9%	品川区報	60.2%
	チラシ・ポスター	31.6%	チラシ・ポスター	35.5%	チラシ・ポスター	28.6%
	大学のHP等	17.5%	大学のHP	9.7%	友人・知り合いの誘い	5.1%
			その他	12.9%	その他	6.1%

	平成25年度					
後援・共催	品川区共催		世田谷区共催		品川区共催	
実施日時	25.5.26(日)10:00～12:00		25.10.20(日) 10:00～12:00		25.11.16(土)10:00～12:00	
実施場所	こみゆにていプラザ八潮		上北沢ホーム		五反田キャンパス	
受講料	無料		無料		無料	
講座の内容	「男女共同参画時代こそ知っておきたいライフイベントと女性の健康・災害と備え」		「転倒予防のための足部ケアと身体機能の向上」		「老化を予防する(アンチエイジング)」	
講師	看護学科准教授 岩崎 和代		医療情報学科教授 山下 和彦		医療栄養学科准教授 神田 裕子	
参加者数	27名		18名		70名	
アンケート回答者数	26名		14名		62名	
	(回収率 96.3%)		(回収率 77.8%)		(回収率 88.6%)	
性別	女性22名、男性4名		女性10名、男性4名		女性41名、男性20名、無記名1名	
年代	70歳以上	46.2%	70歳以上	57.2%	70歳以上	45.2%
	50～69歳	46.2%	50～69歳	35.7%	50～69歳	40.3%
	50歳未満	7.6%	49歳以下	7.1%	49歳以下	14.5%
在住	品川区	57.7%	世田谷区	100.0%	品川区	69.4%
	その他の区等	42.3%	その他の区等	0.0%	その他の区等	30.6%
感想	とてもわかりやすかった	96.2%	わかりやすかった	92.8%	わかりやすかった	92.0%
	とてもためになった	88.5%	参考になった	92.8%	参考になった	95.2%
講座を知った方法	チラシ・ポスター	26.9%	世田谷区報	46.7%	品川区報	48.5%
	友人・知人	46.2%	チラシ・ポスター	46.7%	チラシ・ポスター	27.9%
	大学のHP等	26.9%	その他	6.6%	友人・知人	10.3%
					その他	13.3%

		平成24年度				
後援・共催	品川区共催		世田谷区共催		品川区後援	
実施日時	24.5.27(日)10:00~12:00		24.6.23(土)10:00~12:00		24.11.17(土)10:00~12:00	
実施場所	こみゆにていプラザ八潮		新樹苑		五反田キャンパス	
受講料	無料		無料		無料	
講座の内容	「生きるための心(性)の教育」		「腎臓の働きが衰えている人の食事」		「知っておきたい こどもの病気と健康管理」	
講師	看護学科准教授 渡會 睦子		医療栄養学科教授 森本 修三		看護学科准教授 富岡 晶子	
参加者数	20名		38名		10名	
アンケート回答者数	13名 (回収率 65%)		34名 (回収率 89.5%)		7名 (回収率 70.0%)	
性別	女性11名、男性2名		女性29名、男性5名		女性7名、男性0名	
年代	70歳以上	25.0%	70歳以上	74.3%	50~69歳	28.6%
	50~69歳	25.0%	50-69歳	22.9%	30~49歳	71.4%
	50歳未満	50.0%	50歳未満	2.8%	10~29歳	0.0%
在住	品川区	69.2%	世田谷区	91.4%	品川区	71.4%
	その他の区等	30.8%	その他の区等	8.6%	その他の区等	28.6%
感想	とてもわかりやすかった	100.0%	とてもわかりやすかった	91.4%	とてもわかりやすかった	100.0%
	とてもためになった	84.6%	とてもためになった	91.4%	とてもためになった	85.7%
講座を知った方法	チラシ・ポスター	30.8%	世田谷区報	42.9%	チラシ・ポスター	42.3%
	友人・知人	30.8%	チラシ・ポスター	34.3%	大学のHP等	57.7%
	大学のHP等	38.4%	友人・知人	11.4%		
			その他	11.4%		

大学院公開講座等実施状況 医療保健学研究科（平成24年度～平成26年度）

	平成26年度 大学院公開講座	平成25年度 大学院公開講座
実施日時	26.7.5（土） 12：30～16：00	25.7.6（土） 12：30～16：00
実施場所	時事通信ホール	時事通信ホール
受講料	3,000円	3,000円
講座名	「感染制御のこれから」	「感染制御－2013年の話題－」
講座の内容	感染制御学及び周手術医療安全学の大学院生、修了生、教員の研究成果発表を軸に、感染制御に関わるトピックスや、最新の情報、課題、また病院のファシリティマネジメントについて解説。 感染制御学企業人支援実践講座修了生の発表。	感染制御学の大学院生の研究成果を軸に、感染制御に関わるトピックスや、最新の情報、感染関連法規等を解説。感染制御実践看護学講座及び感染制御学研究センター東京・大阪の紹介。
講師	小林 寛伊（東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科長） 大久保 憲（東京医療保健大学 副学長） 吉田 理香（東京医療保健大学大学院 准教授） 東京医療保健大学大学院生4名、修了生2名 感染制御学企業人支援実践講座修了生1名	小林 寛伊（東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科長） 大久保 憲（東京医療保健大学 副学長） 菅原 えりさ（東京医療保健大学大学院 准教授） 吉田 理香（東京医療保健大学大学院 准教授） 東京医療保健大学大学院生10名
参加者数	152名	173名
アンケート回答者数	51名（33.6%）	63名（36.4%）
講座を知った方法	大学院からの案内メール、郵送物 71% 勤務先・知人からの案内 9% 大学ホームページ 4% 雑誌の広告 11% その他 5%	大学院からの案内メール、郵送物 49% 勤務先・知人からの案内 27% 大学ホームページ 8% 雑誌の広告 6% その他 10%
公開講座の時間	ちょうど良い 94% 長い 2% 短い 2% その他 2%	ちょうど良い 92% 長い 4% 短い 4%
公開講座の内容	妥当 86% 難しい 4% もう少し専門的でも良い 8% その他 2%	妥当 87% 難しい 9% もう少し専門的でも良い 4%

	平成24年度 大学院公開講座	
実施日時	24.7.7(土) 13:00~16:00	
実施場所	時事通信ホール	
受講料	3,000円	
講座名	「感染制御策の向上を目指して」	
講座の内容	感染制御学コースの大学院生及び感染制御実践看護学講座修了生、受講生の研究成果を軸に、感染制御に関わるトピックスや、国内外の最新の情報解説。	
講師	小林 寛伊 (東京医療保健大学長) 大久保 憲 (東京医療保健大学 副学長) 東京医療保健大学大学院生12名、修了生1名 感染制御実践看護学講座修了生2名	
参加者数	176名	
アンケート回答者数	50名(28.4%)	
講座を知った方法	大学院からの案内メール、郵送物	45%
	勤務先・知人からの案内	27%
	大学ホームページ	8%
	雑誌の広告	4%
	その他	16%
公開講座の時間	ちょうど良い	94%
	長い	4%
	短い	2%
公開講座の内容	妥当	80%
	難しい	12%
	もう少し専門的でも良い	6%
	その他	2%

大学院公開講座実施状況 看護学研究科 (平成24年度～平成26年度)

	平成26年度	
実施日時	26.11.7(金) 18:00～19:30	26.10.23(木) 18:00～19:50
実施場所	国立病院機構キャンパス	国立病院機構キャンパス
受講料	無料	無料
講座名	アメリカの自律した看護師はどのように育つか	オバマケア以降のNPの活動
講座の内容	超高齢化社会の到来に伴い医療ニーズが急速に増大する中で、看護職の専門性を強化し、その役割を最大限に発揮することが期待されている自律した看護師の育成についての講演。	今年から米国で本格的に始動したオバマケア(医療制度改革)によって、実際の医療現場はどのような変化が起きているか、またその中で「NPは何を行い、また何を期待されているのか」についての講演。
講師	Maureen, Shannon(ハワイ大学) 准教授	Garrett K. Chan(米国スタンフォード大学附属病院) 高度実践センター部長
参加者数	73名	59名
アンケート回答者数	56名	特にアンケートは実施しなかった。
講座を知った方法 (学外者のみ)	大学のホームページ 21% 大学からのチラシ 43% 友人・知人からの案内 4% その他(大学職員からの案内等) 32%	
公開講座の時間	適当 82% 長い 9% 短い 5% その他(途中から参加等) 2% 無回答 2%	
開始時間	適当 58% もっと早い時間がよい 24% もっと遅い時間がよい 15% その他( ) 3%	
公開講座の内容	すごく良かった 25% 良かった 64% 普通 7% 難しい 0% その他( ) 0% 無回答 4%	

	平成25年度			
実施日時	26.1.8(水) 18:00~19:30		25.6.10(月) 18:00~19:30	
実施場所	国立病院機構キャンパス		国立病院機構キャンパス	
受講料	1,000円		1,000円	
講座名	米国におけるNPを医師の視点から考える		「米国におけるナースプラクティショナーの過去、現在と未来の役割」	
講座の内容	米国スタンフォード大学病院の救命救急・集中治療室におけるNPの活動状況、役割、医師の視点からみたNPの現状と期待される未来についての講演。		Chan, Garrett氏の、米国におけるナースプラクティショナーの歴史的発展の経緯、実際の活動経験、未来に向けての課題等の講演。	
講師	御手洗 剛 (米国スタンフォード大学病院) 准教授		Garrett K. Chan (米国スタンフォード大学付属病院) 臨床准教授	
参加者数	98名		73名	
アンケート回答者数	49名		58名	
講座を知った方法 (学外者のみ)	大学のホームページ	11%	大学のホームページ	12%
	大学からのチラシ	47%	大学からのチラシ	19%
	友人・知人からの案内	16%	友人・知人からの案内	7%
	その他(大学職員からの案内)	26%	その他(教員等からの案内)	24%
			無回答	38%
公開講座の時間	適当	98%	適当	95%
	長い	0%	長い	0%
	短い	2%	短い	2%
	その他(途中から参加)	0%	無回答	3%
	無回答	0%		
開始時間	適当	88%	適当	78%
	もっと早い時間がよい	10%	もっと早い時間がよい	14%
	もっと遅い時間がよい	2%	もっと遅い時間がよい	3%
	その他( )	0%	無回答	5%
公開講座の内容	すごく良かった	80%	すごく良かった	47%
	良かった	20%	良かった	42%
	普通	0%	普通	5%
	難しい	0%	難しい	3%
	その他( )	0%	無回答	3%
	無回答	0%		

	平成24年度	
実施日時	24. 10. 29(月) 17:30~19:00	
実施場所	国立病院機構キャンパス	
受講料	1,000円	
講座名	「オーストラリアにおける看とり ～現状と課題～」	
講座の内容	ターミナルケアの世界的権威者であるマーガレット・オコナー氏の、海外におけるターミナルケアの現状についての講演。	
講師	マーガレット・オコナー オーストラリア、モナシュ大学医療看護科学学部 教授	
参加者数	90名	
アンケート回答者数	60名	
講座を知った方法 (学外者のみ)	大学のホームページ	0%
	大学からのチラシ	31%
	友人・知人からの案内	23%
	その他(勤務先等からの案内)	46%
公開講座の時間	適当	87%
	長い	0%
	短い	5%
	その他(途中から参加)	5%
	無回答	3%
開始時間	適当	70%
	もっと早い時間がよい	8%
	もっと遅い時間がよい	19%
	その他(土曜日)	3%
公開講座の内容	すごく良かった	15%
	良かった	52%
	普通	21%
	難しい	7%
	その他(もう少し専門的でも良い)	3%
	無回答	2%

医療保健学部学生による課外活動の状況について（平成 23 年度以降の主なもの）

活動内容	活動場所	実施時期	参加者数	目的・効果	
1. 医療に関わる 活動・参加	N T T 東日本関東病院 (品川区)における トリアージ訓練	23. 10. 13(木)	113 名	大事故、災害時における 救命の順序を決める訓練に 参加し、医療系の大学で 学ぶ学生としてその重要性 を認識する機会となった。	
		24. 10. 11(木)	96 名		
		25. 10. 10(木)	34 名		
		26. 10. 9(木)	115 名		
2. 高齢者・障害者 等への介助及び 支援活動	中延複合施設(品川区) のくつろぎ祭り	23. 9. 17(土)	5 名	祭りの当日、高齢者・ 障がい者の食事等の支援活 動により介護の深みを体験 することができた。	
		24. 10. 6(土)	8 名		
		25. 10. 12(土)	8 名		
		26. 9. 8(土)	6 名		
	一般社団法人 たまみずき基金 オータムキャンプ	25. 10. 13(日)～	4 名	障がいを持った方の支援を 行っている「たまみずき 基金」が障がい児を対象と して企画実施した新潟県湯 沢町の 1 泊 2 日のオータム キャンプにおいて、障がい 児に 1 対 1 で付添い介護を 行うことにより、障がい を持った子供たちとの関わり を体験する貴重な機会と なった。	
		25. 10. 14(月)			
		26. 9. 14(日)～	2 名		
		26. 9. 15(日)			
		松が谷福祉会館 (台東区)における 車いすのメンバーと ベネチアンガラスの ストラップ作り	24. 8. 5(日)	3 名	医療栄養学科の学生が調理 等に関する支援を行うこと により自己啓発に役立った。
		西宮工場キッチン スタジオ(兵庫県西宮 市)における小学生を 対象とした料理教室の スタッフ	23. 8. 10(水)	7 名	同上
	武蔵野市立千川小学校 における小学生に 対する食育活動	23. 9. 5(月)～	9 名	同上	
		23. 9. 29(木)			
		24. 9. 12(水)～	4 名		
		24. 9. 26(水)			

活動内容	活動場所	実施時期	参加者数	目的・効果
3. 地元の行事等に 参加して 地域との交流を 深める活動	公益社団法人 日本リウマチ友の会 東京支部第 50 回 総会・記念大会	24. 4. 29(月)	3 名	医療保健学部看護学科の学 生がボランティアで参加し 受付・案内・誘導等の業務 を行い、自己啓発に役立った。
	五反田相生町会例 大祭における神輿 担ぎ等	23. 10. 1(土)～	8 名	大学所在地の地元の活動に 積極的に参加することに より、住民との交流・コミ ュニケーションを円滑に 行えるようになった。
		23. 10. 2(日)		
		24. 10. 6(土)～	12 名	
		24. 10. 7(日)		
		25. 10. 5(土)～	9 名	
		25. 10. 6(日)		
		26. 10. 4(土)～	2 名	
	N T T 東日本病院 (品川区) ふれあい フェスティバル	23. 5. 28(土)	40 名	フェスティバルにおい ては、チアダンスサークル 及び手話ボランティアサー クルが日頃の成果を披露 し、また参加者と一体と なって交流を行うことに より患者様等の元気回復に 寄与することができた。
		24. 5. 26(土)	40 名	
		25. 5. 18(土)	40 名	
		26. 5. 24(土)	48 名	
	東京都看護協会が 主宰する看護の日の 記念行事である 看護フェスタ 2013 に 参加	25. 5. 12(日)	8 名	看護フェスタ 2013 におい ては、看護学科学生等で 構成するチアダンスサー クルが参加して、日頃の練習 の成果を披露するとともに 来場者の誘導を積極的に 行うなど記念行事の円滑な 実施に貢献した。
せたがや福祉 区民学会 学生交流会に参加	25. 10. 23(水)	5 名	世田谷区にある本学等 4 大学の学生、世田谷区、 福祉施設の職員等が参加 して、福祉の心をキーワー ドとした区民学会に本学の 手話ボランティアサークル が参加してサークルの活動 内容の発表を行うとともに 意見交換等を行っており、 福祉に関心を持つ有意義な 機会となった。	
	26. 6. 25(水)	3 名		

活動内容	活動場所	実施時期	参加者数	目的・効果
3. 地元の行事等に 参加して 地域との交流を 深める活動	世田谷線沿線上町 周辺のクリーン活動	24. 9. 2(日)	8名	地域活動に参加し地元商店 街の方々との交流を深める ことができた。
	世田谷区上町天祖 神社例大祭	24. 9. 9(日)	6名	同上
		26. 9. 7(日)	5名	
	世田谷八幡宮例大祭	24. 9. 16(日)	8名	同上
		26. 9. 14(日)	10名	
五反田ブラジル祭	26. 7. 12(土)	4名	同上	

東が丘・立川看護学部学生による課外活動の状況について(平成23年度以降の主なもの)

活動内容	活動場所	実施時期	参加者数	目的・効果
1. 医療に関わる活動・参加	東京医療センター(目黒区)における大規模災害訓練への参加	23. 10. 25(火)	101名	・大事故、災害時における救命のトリアージ訓練に参加し、医療系の大学で学ぶ学生としてその重要性を認識する機会となった。
		24. 10. 11(木)	134名	
		25. 10. 29(火)	90名	
		26. 10. 21(火)	90名	
	東日本大震災で被災し福島県南相馬市、宮城県山元町、岩手県釜石市等の病院・仮設住宅におられる方々に足浴の後にアロマトリートメントの実施	24. 12～ 26. 8	延べ34名	・年に数回、学生が被災地の病院・仮設住宅を訪問してアロマトリートメントを行うことにより被災者等の癒しと元気回復に寄与する有意義な活動となっている。
	・谷川真理ハーフマラソン(東京都北区)	26. 1. 12(日)	3名	
	・湘南藤沢市民マラソン(神奈川県藤沢市)	26. 1. 26(日)	3名	
	・谷川真理テinkerマラソン(東京都調布市)	26. 4. 13(日)	5名	
	・五色桜 EKIDEN(東京都足立区)	26. 4. 19(土)	5名	
	・上州武尊山スカイビュー・ウルトラトレイル(群馬県上州武尊山周辺)	26. 9. 20(土)～ 26. 9. 22(月)	6名	
	・谷川真理駅伝第2弾ハイテクタウン駅伝(東京都板橋区)	26. 10. 4(土)	6名	
	・ちばアクアラインマラソン(千葉県木更津市他)	26. 10. 18(土)～ 26. 10. 19(日)	14名	
・富士山マラソン(山梨県南都留郡)	26. 11. 29(土)～ 26. 11. 30(日)	15名		

活動内容	活動場所	実施時期	参加者数	目的・効果	
2. 病院等における活動	東京医療センター（目黒区）における各種コンサート演奏	23. 8. 8(月)	10名	・器楽によるクラシック音楽を演奏し、入院患者さん等への癒しに寄与いたしました。	
		23. 12. 26(月)	9名		
		24. 8. 8(水)	12名		
		24. 12. 26(月)	12名		
		25. 8. 8(木)	9名		
		25. 12. 26(木)	9名		
		26. 8. 7(木)	8名		
		26. 12. 24(水)	11名		
	東埼玉病院（埼玉県蓮田市）における「芸術鑑賞会」等参加	23. 8. 16(火)	10名	同上	
		24. 5. 29(火)	9名		
	東京医療センター（目黒区）における七夕イベント		23. 6. 30(木)～	5名	・東京医療センター1階外来ホールにおける七夕イベントの笹の飾り付けや短冊を作成し、朝・夕に枯笹の清掃などを行い、イベント終了後、短冊を神社に奉納し祈禱を行っていただきました。
			23. 7. 8(金)		
24. 6. 29(金)～			5名		
24. 7. 9(月)					
25. 6. 29(土)～			15名		
25. 7. 8(月)					
26. 6. 27(金)～	9名				
26. 7. 8(火)					
3. 地元の行事等に参加して地域との交流を深める活動	HugHugChu 子育てボランティアコンサート（中野区）	23. 9. 11(水)	11名	・子育てをしている方々と0～3歳児の子供に音楽を楽しんでいただきました。	
	豪徳寺商店街「たまにゃん祭り」（世田谷区）	24. 5. 13(日)	9名	・地域の祭りにおいてクラシック音楽サークルが日頃の成果を披露し、また参加者と交流を行いました。	
	八幡親子のつどいの広場 子育てボランティアコンサート（千葉県市川市）	24. 8. 28(火)	10名	・子育てをしている方々と0～3歳児の子供に音楽を楽しんでいただきました。	

活動内容	活動場所	実施時期	参加者数	目的・効果
4. 目黒区消防団に入団して消防活動に参加	目黒区内	24. 7. 25(水) 25. 7. 18(木) 26. 7. 29(火)	24 名入団 55 名入団 62 名入団  平成 23 年 1 月に 39 名 入団後、毎 年多数入団 しており、 現在 147 名 が在籍	・消防団の活動は、消防団始式、東京消防出初式、水防訓練、消防操法大会、総合防災訓練等の活動があり、わが街を災害から守るという使命感のもと、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。